

令和3年3月25日

厚生労働省  
雇用環境・均等局長  
坂口 卓 殿

公益社団法人 日本看護協会  
会 長 福 井 トシ子



### 令和4年度予算・政策に関する要望書

看護職員の勤務環境においても、今まさに「働き方改革」の取り組みが進められていますが、少子化の中で看護マンパワーを今後とも安定的に確保するためには、従来に増して柔軟な働き方、多様な働き方の選択肢を広げることが不可欠となっており、これを支える制度へのニーズが高まっています。

看護職員の12人に一人が現在家族等の介護をしながら就業している実態があり、40～50代ではその割合がさらに高まるなど、介護離職を防止し、仕事と介護との両立支援の拡充が急がれる状況です。現在介護のための所定労働時間の短縮は、選択的措置義務の一項目とされていますが、利用の希望も多く、1日の勤務時間の短縮だけでなく、1日の勤務時間はそのままに勤務日数を少なくする等、それぞれの介護事情に合わせた弾力的な運用が期待されます。介護のための所定労働時間の短縮の措置義務化は、仕事と介護との両立支援、ひいては介護離職防止に有効であると期待されます。

以上より、以下の事項につきまして格別のご高配を賜りますよう要望します。

#### 要 望 事 項

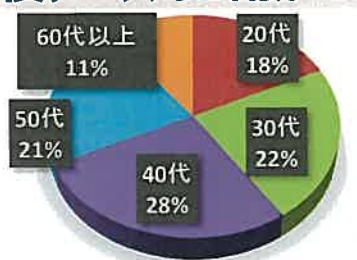
1. 看護職員等について、介護のための所定労働時間短縮の措置義務化

# 1. 看護職員等の介護のための所定労働時間短縮の措置義務化

- 育児・介護休業法を改正し、介護のための所定労働時間の短縮措置を事業主に義務付けられたい

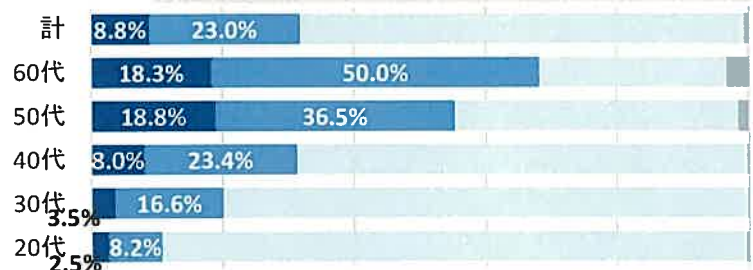
## 看護職員に高まる「仕事と介護の両立支援」ニーズ 「介護のための短時間勤務」を希望

現役ナースの6割が40歳以上



2018年「衛生行政報告例」による

50代以上のナースは  
約2割が「現在介護をしている」



■ 現在している ■ 過去にしていた ■ 介護経験なし ■ 無回答

看護職員実態調査（2017年・日本看護協会）による

### 40代以上では「介護」理由の短時間勤務の希望が多い

短時間勤務の 利用・利用希 望	現在 利用し て いる	利用 したい と思う	利用したい理由(複数回答・「利用したいと思う」回答者についての%)									
			育 出 産 子	介 護	康 自 管 分 理 の 健	己 進 学 発 自	地 域 活 動 ・ ア ン	ポ イ ン ト ア ク ティ ビ ティ	リ ン ド の キ セ ヤ カ	後 定 年 退 職	趣 味 活 動	そ の 他
計(2563)	4.6%	40.2%	55.8%	30.6	39.6	13.9	3.6	13.8	17.4	1.6	0.5	
20代(477)	1.9	45.5	80.6	10.6	29.0	12.9	1.4	1.8	19.4	0.9	-	
30代(637)	11.5	44.0	91.1	18.6	25.4	16.1	1.8	1.8	11.8	0.7	-	
40代(758)	3.3	39.3	44.0	<b>41.9</b>	49.3	15.1	5.0	13.1	20.1	2.7	1.0	
50代(574)	1.0	34.5	6.6	<b>51.5</b>	58.1	11.6	6.6	37.9	20.7	2.0	0.5	
60代以上(113)	4.4	31.0	-	37.1	31.4	5.7	2.9	51.4	8.6	-	2.9	
不明・無回答(4)	-	75.0	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	33.3	-	